

平成 24 年 6 月 8 日

各 位

会 社 名 愛 知 電 機 株 式 会 社  
代 表 者 名 取 締 役 社 長 山 田 功  
(コード番号 6623 名証第1部)  
問 合 せ 先 経 営 企 画 部  
総務グループ長 磯部 紀守  
(TEL : 0568-31-1111)

### 新型負荷時タップ切換装置の開発に関するお知らせ

当社は、変圧器に搭載し、送電線あるいは配電線の電圧変動に対して送り出し電圧を一定に調整する装置である負荷時タップ切換装置の新型品を開発し、製品化の目処を付けました。

負荷時タップ切換装置は、変圧器の巻線に接続されるタップ選択器および変圧器を運転したまま通電電流を切換える切換開閉器で構成されている。

今回開発した負荷時タップ切換装置の特長は、切換開閉器の電流遮断部に従来の絶縁油中で通電電流を遮断する油中切換方式ではなく、真空バルブ内で通電電流を遮断する真空バルブ方式を採用していることである。真空バルブ方式は、タップ切換時の電流遮断による放電で生じるスラッジで切換開閉器周囲の絶縁油を汚損することがなく、専用の浄油装置（ろ過装置）が不要となるなど、メンテナンス性が良いことから、ニーズが高まっていた。

現在、一般的には、真空バルブを使った切換開閉器には、切換方式として高容量タイプでは2抵抗4バルブ方式、低容量タイプでは1抵抗2バルブ方式が国内外で採用されているが、今回当社が開発した切換開閉器は、1抵抗1バルブ方式を採用し、運転時の信頼性を向上させつつ切換開閉器のコンパクト化を達成した。また、コンパクト化を達成したことにより、当社の従来形製品であるEL形負荷時タップ切換装置の切換開閉器との完全な互換性を実現し、既存製品を油中切換方式から真空バルブ方式へ変更することも可能となる。

現在、開発モデルの試験を完了し、負荷時タップ切換装置と変圧器一体での製品化の目処を付けた。今後は、製品モデルで性能確認試験を実施し、平成25年度から販売を開始する予定である。

#### 【新型負荷時タップ切換装置に関する問合せ先】

愛知電機株式会社 電力事業部 変圧器技術部 大形技術グループ

(担当：水野、三浦 TEL : 0568-35-1164 平日のみ8:30~17:00)

以 上